

ラ X 機動戦士ガンダム F91

ラフレシア

機体名	<u>ラフレシア</u>	画像
型式番号	XMA-01	
英語名	LAFRESSIA	
所属	クロスボーン・バンガード	
パイロット	カロッツ・ロナ	
装甲材質	チタン合金ハイセラミック複合材	
装備	茎部メガ粒子砲×5 葉部メガビームキャノン×5 根部ビームキャノン×4 底部拡散ビーム砲×8 テンタクラード×125 耐ビーム・バリアー	
作品名	機動戦士ガンダム F91	
参考書籍	SD ガンダム G ジェネレーション FFACT FILE 59	

内容

クロスボーン・バンガードの試作型 MA。

強化人間用に開発された超大型 MA で、クロスボーン軍の最高指揮官カロッツ・ロナの研究課題「ラフレシア・プロジェクト」の遂行のために開発された機体である。

新型サイコミュシステムを搭載し、機体の制御は全てパイロットの思考に応じて行われる。

5基の葉部ユニット内には25本の攻撃用触手「テンタクラード」が装備されており、また無数のビーム砲を備えている。

さらにIフィールド・バリアまで展開することができ、この時代にあっては最強の機動兵器であった。

フロンティア・サイドの戦闘において、連邦軍1個艦隊をたった1機で壊滅させる破壊力を見せたが、その直後ガンダム F91 によって撃破された。

備考

スペック

項目	内容
頭頂高	37.5m
全高	37.5m
本体重量	184.6t
全備重量	263.7t
ジェネレーター出力	31650kw
スラスタ総推進力	不明

スラスタ-推力	52020 × 543350 × 528900 × 20
アポジモ-ター数	40 (本体)
センサー有効半径	不明